豊かな海に育まれた「函館の産業と観光」

～時代を超え、受け継がれる匠（クラフトマンシップ）の心～

今から約150年前に我が国最初の国際貿易港として開港した函館は、世界各地から人や文化を柔軟に受け入れる中で、その過程で培われた建築技術、造船技術、食品加工技術、漁業技術などを現代に受け継ぎ、函館の観光に欠くことのできない歴史的建造物等豊富な産業観光資源を育んできました。

このような函館の産業観光を内外に広く発信し、その資源を生かした新たな視点で産業観光のあり方を考えます。

10月13日（木） 開会式・記念講演・分科会

市民会館大ホール他

要 事前申込　参加費　●記念講演・分科会 無料　●交流会6,000円

PROGRAM

13:00～ **開会式**【市民会館大ホール】主催者挨拶、産業観光まちづくり大賞表彰式等

14:00～ **記念講演**【市民会館大ホール】

講師 **荒俣 宏**氏
作家・図像研究家

テーマ **「誰が掘る?!函館の埋蔵金 ～まちの魅力の再発掘マル秘テクニック～」**

講師プロフィール **荒俣 宏**氏

1947年、東京生まれ。慶応大学法学部卒業後、日魯漁業に入社。10年間のサラリーマン生活を経て翻訳家として独立し、文筆活動に専念。87年、『帝都物語』にて日本SF大賞を受賞。350万部を越える大ベストセラーとなった。89年、『世界大博物図鑑第二巻　魚類』で、サントリー学芸賞を受賞。小説、博物学、神秘学などジャンルを越えた執筆活動を展開し、その著書、訳書は数百冊に及ぶ。

15:30～ **分科会**
- ●**第1分科会**【市民会館大ホール】
- ●**第2分科会**【市民会館小ホール】
- ●**第3分科会**【市民会館大会議室】

17:00～ **分科会報告&総評**【市民会館大ホール】

18:30～ **交流会**【ロワジールホテル函館】※食材の宝庫ならではの「旬」の競演をお楽しみいただきます。

分科会

第1分科会
【市民会館大ホール】

テーマ **「歴史的建造物に受け継がれる匠の技と産業観光」**

●コーディネータ　函館大学教授 元STV函館放送局長 小林裕幸氏
●パネリスト　金森商船株式会社 代表取締役社長 渡邉兼一氏
伝統的建造物旧相馬邸代表 東出伸司氏
市立函館博物館館長 田原良信氏
●アドバイザー　全国産業観光推進協議会 副会長 須田寛氏

第2分科会
【市民会館小ホール】

テーマ **「豊かな海に育まれた函館の食と産業と観光」**

●コーディネータ　函館国際水産・海洋都市推進機構長 伏谷伸宏氏
●パネリスト　北海道大学大学院水産科学研究院教授 安井肇氏
マルキチ食品株式会社 代表取締役社長 金子宏道氏
バル街主宰 レストランバスク代表 深谷宏治氏

第3分科会
【市民会館大会議室】

テーマ **「現代に生きる地域文化芸術のデジタルアーカイブ化と産業観光」**

●コーディネータ　公立はこだて未来大学教授 川嶋稔夫氏
●パネリスト　NPO法人語りつぐ青函連絡船の会副理事長 白井朝子氏
みなみ北海道観光推進協議会企画委員長 中野晋氏
函館市中央図書館館長 長谷部一弘氏

10月14日（金） エクスカーション 5つのコースで産業観光の現場を巡るツアー

EXCURSION

コースA

募集人員各20名 参加費2,000円

匠の技に育まれた歴史的建造物を歩いて巡る

・はこだてまちあるき体験会（半日コース）
A-1　「箱館はじめて物語」→昼食:函館ビヤホール
A-2　「もう一つの函館山～閉ざされた要塞の秘密」→昼食:函館山山頂
A-3　「土木・産業遺産フットパス、（株）函館どつく」→昼食:入舟番屋

A-1
- 地域交流まちづくりセンター 9:00集合 ≫ 東本願寺函館別院 9:20～9:35 ≫ 元町配水場 9:40～10:00
- ハリストス正教会 10:10～10:20 ≫ 元町公園（旧函館区公会堂・写真歴史館） 10:30～11:10 ≫ 日本最古のコンクリート電柱 11:25
- 箱館高田屋嘉兵衛資料館・赤レンガ倉庫群 11:30～12:00 ≫ 函館ビヤホール（昼食後解散） 12:10

A-2
- 地域交流まちづくりセンター 9:00集合 ≫ 函館山ふれあいセンター 9:15～9:30
- 千畳敷広場・千畳敷戦闘指令所・砲台跡 10:50～11:20 ≫ 御殿山第二砲台跡 12:00～12:10
- 函館山山頂（昼食） 12:30～13:20 ［ロープウェイ］ 函館山ロープウェイ山麓駅 13:30

A-3
- 函館公園・博物館見学 9:00集合 ≫ 元町配水池 9:40～10:00 ≫ 東本願寺函館別院 10:05～10:10
- 日本最古のコンクリート電柱 10:15 ≫ 七財橋 10:20 ≫ 旧桟橋 10:30 ≫ 石積み岸壁 10:40～10:45
- 道内初の下水道 11:05 ≫ 函館どつく 11:15～11:50 ≫ 入舟番屋（昼食後解散） 12:05

コースB

募集人員40名 参加費3,000円

豊かな海で育まれた先端技術と匠の技を楽しむ産業観光

函館市臨海研究所で海藻の産業化の歴史と先端技術を学び、摩周丸では青函連絡船の歴史と匠の技を見学します。献上昆布の里南茅部で「こんぶ加工センター」を見学し、最後に10月にオープン予定の函館市縄文文化交流センターで国宝の「中空土偶」に対面します。→昼食:ホテルひろめ荘

- ロワジールホテル函館 9:00集合 ≫ 臨海研究所 9:10～9:50 ≫ 摩周丸 10:00～10:50
- ホテルひろめ荘（昼食） 12:00～12:40 ≫ 縄文文化交流センター 12:50～13:30 ≫ 南かやべ直販加工センター 13:50～14:30
- 函館空港経由 15:10 ≫ 函館駅前 15:30